

放射線治療

放射線治療は直線加速器（リニアック）と呼ばれる放射線発生装置を用いて、患者様のからだの外から腫瘍に対し高エネルギー放射線を照射し治療を行います。患者様に安心して治療を受けていただけるよう、放射線治療計画は放射線治療医と医学物理士が協同で行い、治療計画の検証など複数回の確認を行った後治療を行います。放射線治療は数週間にわたって行うため、患者様には無理のない姿勢で治療を受けていただけるよう工夫に努めています。また、装置が日々安定して稼働できるよう毎日の始業・終業点検や定期的な放射線出力測定など品質・精度管理も欠かさず行っています。

当院では、腫瘍のみに放射線を集中させ周囲の正常組織への負担を減らす強度変調放射線治療（IMRT）やその応用型である強度変調回転照射法（VMAT）、また体幹部定位放射線治療（SBRT）といった高精度放射線治療も積極的に行っています。



放射線治療装置操作室

日々の治療では室内カメラを用いてモニタリングしながら治療を行っています。



治療計画の検証

患者様毎に治療計画の検証を複数の方法を用いて、行っています。



治療計画用 CT 室

さまざまな治療体位がとれるよう大口径 CT 装置にて撮影を行います。



皮膚へのマーキング

皮膚へのマーキングとして消えにくい貼付式の放射線治療用皮膚マーカ―を状況に応じて使用しています。また、人目に付きやすい部位には肌に馴染む金色を使用します。